

高水三山(793m)山行報告

【山行日】 2016年 11月 27日(日) 晴れ
【集 合】 岩舟支所P AM 6:00
【費 用】 マイカー1台 : 2,500円
【メンバー】 CL:鈴木ユ 大西、関、福田夕、藤原、
渡辺ト

【コースタイム】岩舟支所 P6:00=御嶽駅
7:30/8:01++軍畑駅 8:06/8:15~高源寺 8:45~
常福院 9:55/10:10~高水山 10:15~岩茸石山
11:00/11:40~惣岳山 12:20/12:30~御嶽駅
P14:10/14:20=岩舟支所 P17:00

高水三山へ登りたいとリクエストがあり、あまり気乗りしないが計画した。以前、埼玉の方と佐野の山で出会い、その方に「高水三山に行きたいのですが良い山ですか?」と聞くと、「杉林の中を歩くので暗くて好きじゃない」と言われ、登る機会を失った。また電車で行くのも時間が掛かり不便だし、マイカーでは駐車場が遠いと言うのも敬遠した理由の一つだ。今回リクエストがあったので、駐車場を調べ本町駐車場は駅に近く、朝早く着けば止められることが分かった。



た。万一止められない時に備えて、御嶽橋を渡った先にある駐車場も頭の中に入れて行く。圏央道青梅ICを出て青梅市街を抜け、R411を西に向かい御嶽駅を目指す。

御嶽駅手前にある本町駐車場に車を止め、準備を整え御嶽駅まで歩いて行く。御嶽駅からJR 青梅線に乗り、2駅目の軍畑駅で下車する。駅前でストレッチを行い、左手の小路を進み踏切を渡って、平溝川に沿って都道193号線を進む。しばらく先の橋の手前を左折し、さらに平溝川に沿って進んでゆく。やがて高源寺の手前に登山道入り口の道標に従い、Y字路を右に進むとすぐに高源寺がありトイレがある。小休止

しさらに進むと、民家の前に4個 100 円のゆずが並び、F 原さんが食いついた。普段重いものは持たないF 原さんだが、おまけのゆずを貰い5個のゆずを背負い込む。やがて舗装道路が終わり、左の山道に入り大きな砂防ダムの上まで階段を上って行く。少し先で沢を渡ると、山腹を登るようになり、杉林の急坂をしばらく登り、尾根に登ると傾斜は緩む。植林帯の登りが続き、小曾木からの道を右に合わせ、さらに直進すると常福院の下に出て、石段を上がると常福院の境内に入る。常福院は鎌倉時代の武将畠山重忠の信心が篤かったと伝えられる古刹で、東京都の重要文化財に指定されている。トイレを借りて大休止し、ミカンやまんじゅうなどを食べエネルギーを補給する。ここから本堂の裏手を一登りすると、高水山の山頂に着く。山頂は展望が無いが、広い台地でベンチやテーブルがあり一休みするのに良い場所だ。我々は休憩したばかりなので、急斜面を下り岩茸石山に向かって進む。広い尾根道を辿ると前方に山頂が見え、岩茸石山の鞍部に出る。



鞍部から巻道もあるが、本コース一番の眺望を持つ岩茸石山に登り、少し早いランチタイムとする。



朝方は小雨がパラつき曇りの予報だったが、晴れて風も無くとても暖かい。山頂は東西に細長く、東から北側に掛けて開けており、奥武蔵の山々が見渡せる。本日の山ご飯は、焼きそばとベーコン&ほうれん草のスープ。暖かい日差しを受け、焼きそばとスープで温まり至福のひと時。のんびりとお茶を飲み、デザートを食べたら出発する。山頂の西端から急坂を下り、足場が悪いので慎重に下る。巻道を合わせ馬仏山を巻いて進み、急な岩尾根を登ると惣岳山山頂に出る。山頂には青渭神社が建ち、立派な彫刻で飾られた社殿は平安初期に書かれた延喜式に載る古社である。

徳ちゃんが「彫刻が素晴らしい」とお気に入りの様子。

小休止しキーウィフルーツをいただくが、味に当たりはずれがあり大騒ぎして食べる。惣岳山からは、植林帯の道をひたすら下りて行く。途中、送電鉄塔の立つ大地で小休止し、小さなピークを越えると御嶽駅に向かって一気に降りて行く。ジグザグに植林の中を降りて行くと、慈恩寺の境内に出て、階段を降りた舗装道路を左に進み、T字路を右に進むと国道に出る。駅のトイレに寄ると、駅前地元物産を販売していた。天然ワサビやワサビ漬けをお土産に買い、駐車場まで戻る。帰りの道路も渋滞箇所は無く順調で、羽生SAに寄りF原さんお勧めのクロワッサンやミニチーズケーキなどゲットし、予定通り岩舟支所に帰着した。

